

週刊 新社会

発行所：新社会党
 〒101-0051 東京都千代田区神保町2-10 三振工業ビル3F
 TEL 03(6380)9969 FAX 03(6380) 9963
 振替 00140-0-149727 1ヶ月700円 郵送料 1ヶ月164円

新社会千葉

2024年7月 261号

発行：新社会党千葉県本部
 千葉市中央区新田町7-5 石出ビル3F
 TEL: 043-244-6865 FAX: 043-244-6864
 E-mail:sinsya@lily.ocn.ne.jp
 HP URL:http://sinsya-chiba.sub.jp/

銚子市

儲からないから後はよろしく

加計学園千葉科学大学公立化を要望



風光明媚な銚子市名洗の海岸に立つ千葉科学大学

銚子市（越川信一市長）は、学校法人加計学園から昨年10月、「千葉科学大学の公立大学法人化に関する要望書」の提出を受けました。その後、今年4月14日に第1回千葉科学大学公立大学法人化検討委員会（以下、検討委員会）、5月12日に第2回の検討委員会を開催しました。

そもそも開学に当たって銚子市からの援助として92億1500万円（2003年に14億6500万円の返納あり）

身勝手な公立化ありき

5月12日の第2回検討委員会で、千葉科学

大の学長は、「検討委員会への参加は最後に「なる」として、「教育、研究、管理、運営」において加計学園が全面的に協力」「銚子市に對して財政負担はかけない。万が一赤字が発生すればその都度協力する」「公立化に向けての準備が進行している」「市は「前向きに対応して頂きたい」と不満を表明しました。そして、「公立化が大学にとって最善であると考えられる」「公立化は単に授業料が安

き残れる」と力説したのちに、「銚子市が消滅可能性自治体の中でも深刻な状態を脱却することが重要である」と恫喝ともとれる発言です。

市長の発言では、赤字補填について「10月段階では、赤字があった場合は加計学園が補填をする、寄付をする」という話であった。その後、資本金を貸し付け、黒字になったら返してもらうと変わった。また、「減価償却累計額の40億円を流動資産として継承をお願いした。学園からは4億円という回答」なので今後の設備の更改や建物の立替の資金もおぼつかない額です。

また、委員の貸借対照表の開示を求める意見に對して、「学園全体の貸借対照表はあるが、大学別にはつくっていない」と耳を疑うような回答でした。第一回検討委員会で「公立化でなければ来年度から撤退を考慮する」とも述べており、儲からないからよろしくと押し付ける、身勝手な傲慢だと批判が高まっています。

訂正
 本紙6月号の「展望」に「今年は今度の小学生用の教科書の採択・・・とありますが中学生用の誤りでした。訂正してお詫びします。

反失業千葉県共闘会議は6月14日、千葉市民会館において「20



講演する早田弁護士

24年問題と運輸労働者」と題して弁護士の早田賢史氏から講演を受けました。

講演はこれまでの「働き方改革」を振り返りながら時間外労働についての現状と問題点を資料に基づいて説明されました。

問題となっているトラック運転手などの運輸労働者のみならず、タクシーやハイヤー、

バス運転者、更に建設労働者や医療業界の勤務医についての2024年問題での指摘もあり

公共交通にしわ寄せするな

反失業千葉県共闘会議が講演会

り、改善が求められている今日の事態が明らかにされました。

特に交通弱者といわれている、車を持たな

な労働環境のため辞める人が多く、運転手不足が発生し、それを理由にバスの運行台数を減らしたり、路線全体

の運休などをしていいます。確かにバス会社の経営状態もありますが、経済効果だけを優先するのではなく、公共交通機関であることを深く認識し、対策してもらいたいものです。行政は、国民、市民の命と生活を守る責任を果たす義務があります。

「2024年問題」はこのことも指摘しています。

免除申請わすれずに

年金制度は、複雑で額になります。分かりづらいですが、納付は義務で納めなければなりません。しかし、国民年金保険料納付が経済的に困難な場合「国民年金保険料免除・納付猶予制」があります。知られていないことが多いので「制度」があります。申請しておかないと、構のHPで確認して下さい。

【成田M】

展望

七月七日は七夕。中国の神話由来で天の川が舞台のロマンスだ。一年に一度の逢瀬とは切ないだろうに、カササギも一年中架け橋にはなれないのだろうか▼

「この日」、思い出す橋はと聞かれ、「盧溝橋」と即答できる人は多くない。八三二年前にできた十一孔連、二六六・五mのアーチ石橋だ▼この付近で一九三七年（S一二）七月七日、日本軍の夜間演習中に中国軍から発砲があったとして攻撃したのが盧溝橋事件。以降、日中全面戦争からアジア・太平洋に戦火が拡大してゆく▼盧溝橋は北京の中心部から数キロしかない。そんな場所での夜間演習で、両軍はわずか三〇〇mの距離で対峙、これを東京に置き替えると状況の深刻さがわかる。盧溝橋がかかる永定河もこのような舞台にはなりたくなかったろう▼三六四日離れていても慕いあう彦星と織姫。冷え冷えとした日中関係の今、夜空を見上げて頭をこそ冷やしたいものだ。

原爆の絵展



各地の日程と会場

地区	会期	会場
船橋	7月9日～8月9日	船橋市役所1階ロビー
	8月10日～11日	船橋勤労市民センター展示室
習志野	8月3日～9日	新習志野図書館
	8月13日～18日	東習志野図書館
	8月17日～18日	モリア・津田沼イベントスペース2F
市原	7月9日～19日	加茂学園、鶴舞小、南総中
	7月23日～31日	市原市役所新庁舎1階ロビー
	8月2日～4日	五井会館4Fホール
佐倉	7月8日～12日	根郷中学校
	7月16日～19日	志津中学校
	8月2日～4日	ミレニアムセンター佐倉
千葉	7月18日～20日	花園公民館
	7月21日(1日のみ)	千城台公民館1階ロビー
	7月25日～27日	轟公民館
	8月1日～3日	小中台公民館
市川	8月8日～13日	野田市役所1階ロビー
	8月19日～23日	櫛のホール
松戸	8月7日～11日	松戸市民会館2階ロビー
	9月7日～8日	パレット柏
八千代	7月25日～27日	勝田台ステーションギャラリー
山武長生	7月26日～28日	長生村文化会館2階
銚子	7月26日～28日	銚子市市民センター
旭	7月31日～8月2日	旭市まちかどギャラリー銀座



憲法条文クイズに挑戦する中学生 千葉市きぼーる

地域から「平和」を創る

ちば・戦争体験を伝える会 市川まり子

千葉市きぼーるで6月19日～23日に開催した第11回千葉市平和のたのめ戦争展ピースフェア2024は、ステージ発表、パネル展示等参加者300名を含めて来場延べ人数は約1900名と、大勢の皆様に参加・協力で、充実した5日間となりました。

テーマを「戦争と人権・戦争が奪ってきたもの・戦争につながる」として、千葉市空襲、東京空襲の体験談、絵、紙芝居、関東大震災の朝鮮人虐殺、「戦争と公害」の歴史をたどって、足尾銅毒事件、水俣病、PFASの漏出、沖縄南西諸島の現状、原爆・空襲の背景の「軍都」について、「好きな憲法条文シール投票」や「憲法前文」クイズ、また、子ども・若者・女性・日本に住む外国人等を支援する活動や沖縄の問題への取り組み、ガザ紛争地での支援活動と現状報告等、様々な市民団体の展示も並び、「戦死者からのメッセージ」として「武田美通・鉄の造形」2体が強烈に訴えかけました。

彩の美しい本町小学校の子どもたちの絵、千葉朝鮮初中級学校初級部のはじけるような絵から中級部のいくつもポーズを決めた等身大の絵、千葉デザイナー学院の「若者の描く戦争と平和」の作品の数々が、まさに「ピースフェア」の会場を作り上げてくれました。

ステージでは連日、歌と演奏、コーラス、ダンス、朗読と日頃の練習の成果が披露され、22日の集いでは、「千葉市空襲犠牲者」の読み上げ、微用で朝鮮からきた父親と出遭った蘇我の空襲体験談、東京空襲の朗読劇、「あたらしい憲法のはなし」の群読と続きました。

【「戦争と人権」として「富国強兵」「殖産興業」の掛け声の下、植民地を拡大し

平和のための戦争展ピースフェア2024

延べ1900名の来場者で成功裏に終了

「戦争」を繰り返した歴史は、さまざまな「人権侵害」を生み出した。悲惨たる結果に終わった「戦争」の後、国民権の新憲法の下、優生保護法・らい予防法・外国人登録法等が制定されて「選別」は続き、「朝鮮特需」から始まった「戦後復興」。「高度経済成長」「所得倍増計画」「原子力の平和利用」推進政策は、同時にさまざまな問題・「人権侵害」を生み出してきました。それは現在も

「震災復興」「ミサイル防衛」の名で繰り返され、「人」と「地方」を犠牲にした戦争の準備が戦争を招き寄せます。「人権」を守ることも、地域から「平和」を創り出せること、地域からと信じています。

千葉市には、旧鉄道第一連隊材料廠煉瓦棟(千葉経道子園)、陸軍歩兵学校跡(作草部公園)、鉄道第一連隊作業場跡(千葉公園)などの戦跡があります。

是非行ってみたい。【四街道】

四季へのいざない
 苦涼し礎三百の信濃古寺 水明

何年か前に信州へ足を運んだ。一泊二日の小旅行であったが、いまでも時々思い出す。目的地は「信州の鎌倉」といわれた別所温泉。東京よりは北陸新幹線と上田電鉄を利用。約一時間四〇分の行程である。掲句はその折に詠んだもの。季節は「涼し」で夏。また「礎(とう)」は石段のこと。夏の木漏れ日揺れる苔むす石段。そんな寺の石段をゆっくりと登った。青葉風に吹かれながら...



私もこれまで何回か同行したがこしはらくは行っていなかった。今回は年齢的にも「今生の別れ」になると思い同行させてもらった。という訳で御一行様5人は高級車三菱デリカに乗って一路東北自動車道を北上した。途中で日光戦場ヶ原を散策したかったのだが、中禅寺湖に着いたら突然の雨、残念ながらスルーした。

金精峠を超えると空が明るくなり、午後4時に玉原高原に着いた。陽はまた高い。荷を下ろさずに玉原湿原を散策。紅葉の湿原も良いが新緑もまた良いである。整備された木道を30分ほど一周できる。

花の図鑑を持ってくればよかった。「熊に注意」の看板が気になった。「もしも出くわしたら一番目そうな人がやられるべ」などと暢気なことを言いつつ宿に着く。

先ずはひと風呂浴びて、いつもの楽しい宴となったのであります。

【稲毛のGさん】

忙中関つくる
 その1
 クマにご注意



このペンション村はスキーシーズンが忙しく、夏と秋はゆっくりできる。なので以後毎年のようにNTTの仲間が中心となり出かけてきた。Kさんとは気が合っていますし、何と言っても「友達料金」で宿泊できる。